



東風



HPアドレス : <http://kedu.kenet.ed.jp/higashi/>

加速させよう生徒会改革 ～やってみたいを大切に～

生徒会役員選挙が終わりました。以下に新生徒会三役、応援団長の公約を示します。

☆ 生徒会長 藤林 優心さん

生徒の思いが反映された活気あふれる学校にするために、①学級討議の充実化、②部活動向上 Can ペン

☆ 副会長 井川 空駿さん

活気あふれる学校にするために、①挨拶 Can ペン活動、②学年を超えた挨拶プロジェクト

☆ 副会長 小名ひよりさん

プロジェクトや行事に積極的に取り組む活発な学校にするために、①投書箱の有効活用② Can ペンなどのプロジェクトの充実

☆ 書記長 遠藤 碧さん

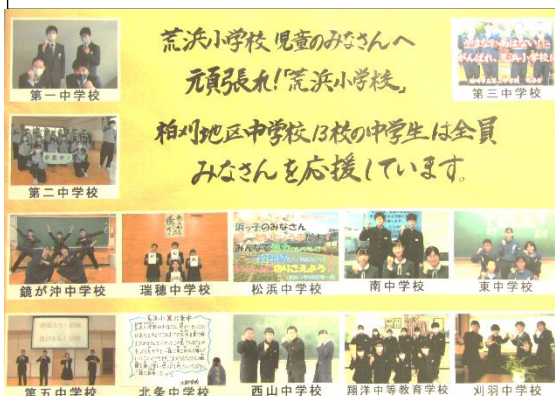
学年の壁なく、活気のある学校にするために、①本部の掲示板を作る、②学年の交流を増やす

☆ 応援団長 高野 煌さん

①あいさつの意識向上、②校歌の声量アップ

新生徒会三役、応援団長の初仕事！

荒浜小学校へ激励メッセージを送りました。



また、自らの意思で生徒会選挙に立候補した1年生6名のみなさん。みなさんの意欲と決断に改めて敬意を表します。今後は、生徒会事務局員として経験を積み、来年度の選挙に再度立候補してください。選挙活動を支えた責任者、運動員のみなさんにも感謝します。

さらに、選挙管理委員会のみなさん。例年、当たり前のように行われていた選挙活動が制限されたため、知恵を出し合って新しい形の選挙活動を生み出してくれました。朝の選挙活動では、玄関前での密を避けるために運動員を輪番制にして少数で行いました。終学活でのミニ演説は時間を短縮して行いましたが、候補者、責任者の主張がより明確となり、質の高い演説会であったと思います。

朝の選挙活動の様子



終学活でのミニ演説の様子



そして、12月1日の立合演説会は、Zoomを使った遠隔型演説会を初めて行いました。演説会と投票（2日）、決選投票（4日）の様子を紹介します。

柘植選挙
管理委員長
からの開会
の言葉。
一気に教室
の緊張感が
高まりました。



「立候補者
の皆さんの周
りには、これ
まで共に頑張
ってきた仲間
がいます。」
と激励する内
山生徒会長。



各学級でメモを取りながら、立候補者の演説を
真剣に聴く生徒。



会議室での演説会がスタート！生徒
会への思いを真剣に伝えました。



演説内容への質問や意見を述べるために、会議室前廊下で
待機する生徒。自分の考えを述べる立候補者。



選挙管理委員会の完璧な準備。整然とし
た雰囲気の中、無事投票が行われました。



開票作業が終了し、委員へ労いの
言葉を述べる柘植委員長。



決選投票のために、朝早くから登校して準備をする委員。

新しい教育活動の形を示してくれた選挙管理委員会、陰からサポートしてくれた全ての教職員に感謝します。

4月当初から生徒会活動の活発な学校づくりを進めてきました。「人に言われてやるのではなく、自分でやりたいと思ったことは失敗を恐れずにやってほしい。」と言い続けてきました。そして、3年生が中心となって成果を上げてきました。1・2年生のみなさんには、このよき流れをさらに加速させてほしいです。

さて、世の中には自分のやりたいことを実現しようと挑戦を続ける中学生がとても多くいます。少しでもみなさんの参考になればと思い、特に気になる中学生を紹介します。

12歳で母の協力を得ながら起業した中学生 ^{かとう} ^{じえい} 加藤 路瑛さん



中学1年の時、母の協力を得て、クラウドファンディング（自分の活動やアイデアを実現するために、インターネットを通じて多くの人から資金を集めるしくみ）で100万円以上の資金を集め、株式会社クリスタルロードを設立しました。起業したいと考える小中高校生の支援事業等がお仕事で、現役の中学3年生と社長業を兼ねながら、幅広く活躍しています。

加藤さんは言います。「やらないで悔やむよりやってみたいことがあればすぐにやるタイプ。やってみて合わなかったら、すぐにやめます。まず行動して後から考えます。」相談にのってくれた担任の先生から、校長先生に事業計画書を出して起業の許可を得るよう助言をもらい、自分がやりたいことや目指すことを説明して許可を得たそうです。加藤さんの事業計画書（A4サイズ1枚）は、「活動資金をどんな方法で集め、どのような仕事を、いつまでに行うか」がシンプルにまとめられていたそうです。

（写真：<https://camp-fire.jp/projects/view/91570>より）

すごい！と思ったのは、加藤さんが中学生社長だからではありません。彼の行動力、先を読む力、そして楽観的思考です。東中の生徒会も「やってみたい」を大切にして、自分たちの手で行事や日常生活を改革しましょう。私は本気です。

バリ島(インドネシア)でレジ袋廃止を実現させたメラティさん・イサベルさん姉妹

メラティとイサベルの姉妹は、美しい故郷バリ島がレジ袋による汚染を阻止しようと、署名を集めたり、海岸を清掃したり、ハンガーストライク（食事をしないことで抗議する行為）を決行したりしました。

この努力により、バリの知事が2018年までに島におけるレジ袋を廃止するという宣言を出しました。イサベルさんは他のやる気あふれる活動家たちに向け、「若いから分からないのだなどと誰にも言わせちゃだめだ。」と主張し、子どもの可能性を証明しました。

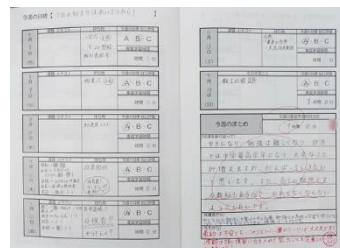


（写真：TED Talksより アメリカのメディア組織で、価値あるアイデアをネットで無料配信）

二人のプレゼンに圧倒されました。自分の考えを根拠に基づいて主張する。批判的な意見もユーモアを交えて行うので嫌みがない。相手に自分の思いを伝えるときはこうすればいいんだ、と学びました。自分の考えを安心して言える学級・学校をつくりましょう。私は本気です。

東京・藤村女子中学校の生徒会改革に取り組んだ ^{もとかわれいな} 本川 怜奈さん

都内の藤村女子中学校生徒会長本川さん。学習・生活記録ノートを毎日提出することが忙しい全校生徒の負担になっていたそうです。本川会長は全校生徒の意見をまとめ、先生方と交渉を重ね、1週間に1回提出に変更したそうです。ノートの中身もリニューアルし、生活・学習記録に加え、連絡、気付きや反省を書き込む欄、保護者と担任からの一言記入欄のある



オリジナルのノートを作成しました。

自信をもった本川会長は、自分たちの考えで学校生活を改善しようと、さらに新しい取組を始めました。その一つが朝学習改革。毎朝、始業前の10分間、英単語テストや計算テストを行っています。これを週1回は各自がやりたい勉強にあてる時間にできないかと生徒会案を出し、先生方との交渉に入っているそうです。（「読売新聞」オンラインより）

「生活ノートや朝学習なんて、先生から指示されてやること」という学校の当たり前をメスを入れた本川さん。彼女は常に生徒ファーストで学校生活を見ています。実態に合わないものは再度考え直してみる。生徒会三役も生徒ファーストの視点でいきましょう。私は本気です。

加藤さんの母親は「やってみれば」の一言だけ。しかし、現在も共同経営者として息子さんの仕事をサポートしています。メラティとイサベル姉妹の両親は、バリ知事に会うために抗議のハンガーストライキを実行することを承諾。ただし、「栄養士に相談する。」という約束を交わしました。藤村女子中学校の先生方は生徒会長の意見に耳を傾け、実現に向けて話し合いに応じました。その際、「すべての生徒にとって有益で、楽をするためだけの改革は認めない。」という条件で折り合いをつけたそうです。活躍する中学生の影には、周囲の大人の理解とサポートが大切なのです。私たち教職員も東中学生徒会の背中を押し続けます。生徒のみなさんの「やってみたい」という気持ちを大切にしていきたいと思います。何度も言いますが、私は本気です。

東中生の活躍を紹介します（敬称略）

◇中学生「税に関する作文」新潟県教育長賞 中野 桃子

12月3日（木）に校長室で賞状伝達を行いました。

◇いきいきわくわく科学賞2020 第56回新潟県児童生徒科学

研究発表会 中学校物理・化学の部

奨励賞「カゼインプラスチックの比較実験」 配野 日菜

◇各種検定合格者

○実用英語技能検定 準2級1名、3級6名、4級1名、5級3名

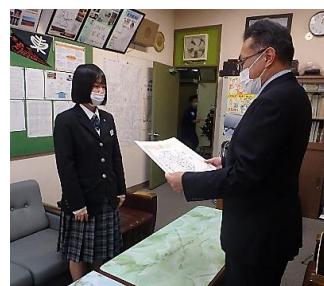
○実用数学技能検定 準2級1名、3級3名

◇第21回県中学生バドミントン選手権大会（五泉市総合会館さくらアリーナ）

○女子ダブルス 第1位 岡本 葵生、田村 桃香

第2位 阿部 愛華、坂井 涼風

○男子シングルス 第2位 阿部 優心（2部）



今後の予定

【12月の予定】

16日（水）チャレンジタイム（数学③）

17日（木）代議員会

22日（火）フッ化物洗口

25日（金）休業前集会

29日（火）年末休業（～31日）

【1月の予定】

1日（金）年始休業（～3日）

7日（木）休業後集会

学習の確認（全学年）

13日（水）チャレンジタイム（理科③）

保護者、地域の皆様。今年一年、大変お世話になりました。来年も東中学校の教育活動に対し、温かいご支援をお願い申し上げます。みなさま、よいお年をお過ごしください。